

(別紙4(2))

事業所名 グループホームおおぞら

目標達成計画

作成日: 平成 24年 8 月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		レベルダウン傾向が見られる 幻聴、幻視、食事拒否	傾聴に努め、他のADLの低下を防ぐ	・日常生活のリズムを保つため、声かけし、食事、運動、レク等を促す。 ・医師による内服調整、食事形態調整	1ヶ月
2		転倒の危険	見守りを頻回にするが、他の人の介助と重なる場合でも、動きを予測し、手順を良くしたい	・部屋には転倒の際、ぶつかり、傷をしないよう不必要なものを置かない。 ・動き出されたら、近くにいて見守る	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。